

(5) 英語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—  
 表 現：外国語表現の能力  
 理 解：外国語理解の能力  
 言・文：言語や文化についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)		
ア 聞くこと (ウ)	1	(1) How are you? に対して正しく応答することができる。		理 解	80.0	84.5		
		(2) Where を用いた疑問文に対して正しく答えることができる。		理 解	60.0	66.4		
		(3) Whose を用いた疑問文に対して正しく答えることができる。		理 解	60.0	35.8		
		(4) How long ～? に対して正しく答えることができる。	◇	理 解	50.0	64.4		
ア 聞くこと (ア) (イ)	2	(1) まぎらわしい月の名前や序数を聞き分けることができる。		理 解	80.0	66.2		
		(2) 数字や教科、曜日を聞き分けることができる。	◇	理 解	80.0	85.5		
		(3) 人の行為や場所を聞き分けることができる。		理 解	80.0	80.1		
		(4) 時間や数字を聞き分けることができる。	◇	理 解	60.0	45.9		
ア 聞くこと (オ)	3	まとまりのある英文を聞いて概要を理解することができる。	◇	理 解	50.0	64.6		
エ 書くこと (イ)	4	(1) 三人称・単数・現在形の文を書くことができる。		言・文	60.0	45.2		
		(2) 三人称・単数・現在形の文を書くことができる。		言・文	50.0	38.9		
		(3) 適切な be 動詞を用いた文を書くことができる。		言・文	60.0	33.2		
		(4) 現在進行形の文を書くことができる。		言・文	50.0	72.2		
		(5) 一般動詞過去形の否定文を書くことができる。		言・文	50.0	29.5		
ウ 読むこと (イ) (ウ)	5	(1)	まとまりのある英文を読んで概要や要点を把握することができる。		理 解	80.0	85.3	
		(2)		◇	理 解	70.0	81.4	
		(3)		◇	理 解	60.0	47.1	
		(4)		◇	理 解	70.0	30.9	
		(5)		◇	理 解	60.0	58.4	
ウ 読むこと (イ) (ウ)	6	(1)	対話を読んで要点を把握することができる。	◇	理 解	70.0	72.5	
		(2)		◇	理 解	70.0	34.7	
エ 書くこと (ア) (イ)	7	(1)	対話に合う禁止の命令文を書くことができる。		表 現	70.0	51.0	
		(2)		対話に合う What を用いた過去進行形の文を書くことができる。		表 現	60.0	51.5
		(3)		対話に合う How many + 名詞の文を書くことができる。		表 現	60.0	59.4
ウ 読むこと (イ) (ウ) (エ)	8	①	場面に合う適切な英文を選ぶことができる。	◇	理 解	70.0	34.7	
				◇	理 解	70.0	63.4	
		②		文と文の順序や相互の関連を理解することができる。	◇	理 解	50.0	17.0
エ 書くこと (ア) (イ)	9	(1)	場面に合う What + 名詞の語順の疑問文を書くことができる。		表 現	40.0	59.1	
		(2)		場面に合う応答文を書くことができる。		表 現	40.0	60.5
		(3)		場面に合う Whose の疑問文を書くことができる。		表 現	40.0	36.1
エ 書くこと (ア) (イ) (エ)	10	指示・条件に従って、まとまりのある英文を書くことができる。	◇	表 現	40.0	18.8		

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
1	(1)	How are you? に対するの応答	80.0	88.2	88.8	78.9	75.5	63.4	86.9	82.7	
	(2)	Whereを用いた疑問文への応答	60.0	72.6	72.5	73.9	62.8	61.1	69.8	60.4	
	(3)	Whoseを用いた疑問文への応答	60.0	37.0	36.8	41.0	32.0	31.3	34.2	31.6	
	(4)	How long～? に対するの応答	50.0	69.5	69.4	70.2	54.5	48.6	61.7	57.1	
2	(1)	まぎらわしい月の名前や序数の聞き分け	80.0	67.0	67.4	60.9	65.2	63.8	66.1	66.2	
	(2)	数、教科名、曜日の聞き分け	80.0	87.3	87.3	87.6	81.7	78.9	85.2	82.9	
	(3)	人の行為や場所の聞き分け	80.0	81.1	81.7	71.4	80.8	77.0	81.2	85.1	
	(4)	時間や数字の聞き分け	60.0	51.2	51.4	46.6	41.7	42.0	47.3	37.7	
3		まとまりのある英文の概要理解	50.0	67.7	67.9	65.2	60.2	58.6	64.8	59.3	
4	(1)	三人称・単数・現在形の動詞の記入	60.0	51.4	51.8	46.0	41.4	33.9	54.7	42.0	
	(2)	三人称・単数・現在形の動詞の記入	50.0	45.3	46.2	31.7	33.8	25.9	51.7	31.8	
	(3)	適切なbe動詞の記入	60.0	42.0	42.0	41.0	37.4	36.8	41.6	35.5	
	(4)	現在進行形の文の動詞の記入	50.0	73.8	73.6	77.0	63.1	58.8	67.8	65.4	
	(5)	一般動詞・過去形の否定文の語句記入	50.0	29.5	29.8	24.8	23.7	14.8	38.9	24.7	
5	(1)	まとまりのある英文の詳細理解	80.0	86.8	86.9	86.3	81.5	80.5	81.9	82.5	
	(2)	まとまりのある英文の詳細理解	70.0	83.0	83.0	82.6	77.3	75.0	78.9	79.2	
	(3)	まとまりのある英文の詳細理解	60.0	50.1	50.5	42.9	43.3	40.5	46.3	44.6	
	(4)	まとまりのある英文の要点理解	70.0	33.9	34.2	28.6	28.0	25.7	33.2	27.5	
	(5)	まとまりのある英文の要点理解	60.0	64.1	63.9	68.1	51.8	50.0	54.7	52.2	
6	(1)	対話文を読んだの詳細（内容）把握	70.0	75.2	75.2	75.8	68.6	64.5	75.2	69.3	
	(2)	対話文を読んだの詳細（内容）把握	70.0	37.1	37.5	31.1	28.5	22.5	39.3	28.8	
7	(1)	対話に合う禁止の命令文	70.0	53.0	53.4	47.2	41.2	33.9	51.0	43.7	
	(2)	対話に合うWhatを用いた過去進行形の文の完成	60.0	57.5	58.2	46.6	47.3	39.6	60.1	48.5	
	(3)	対話に合うHow many+名詞の語順の文の完成	60.0	68.6	69.1	61.5	59.7	51.4	73.2	61.0	
8	(1)	①	場面に合う適切な英文の選択	70.0	38.7	38.9	35.4	32.0	28.2	32.2	36.4
		②	場面に合う適切な英文の選択	70.0	66.1	66.3	64.0	59.0	52.3	69.8	60.2
	(2)	場面に合った対話の流れの理解	50.0	19.3	19.7	13.0	11.0	8.6	12.8	12.8	
9	(1)	What+名詞を用いた日本語に合う英作文	40.0	62.7	62.2	71.4	55.0	51.4	53.4	60.4	
	(2)	場面に合う応答文の英作文	40.0	68.9	69.1	66.5	58.3	56.6	62.4	57.8	
	(3)	Whoseを用いた日本語に合う英作文	40.0	33.9	34.4	25.5	30.2	23.2	37.9	33.8	
10		条件に合うまとまりのある英作文	40.0	21.1	21.2	19.9	17.2	18.6	11.1	19.5	
教 科 全 体			61.0	57.5	57.8	54.2	49.8	45.7	55.7	51.0	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
85.8	84.8	90.3	88.0	83.1	76.3	88.2	66.3	72.1	91.5	92.5	87.7	88.3	88.1	88.7	84.5
67.9	68.8	59.1	75.9	65.8	59.9	62.6	59.6	58.2	69.6	70.6	65.9	64.5	65.7	59.8	66.4
31.6	32.6	29.4	31.4	29.2	41.3	39.4	50.8	38.6	43.1	45.1	35.5	34.3	33.5	37.5	35.8
60.8	62.8	49.1	69.3	55.8	73.6	76.8	77.5	69.6	62.3	63.7	57.2	61.3	62.3	57.5	64.4
62.2	58.8	65.8	72.6	64.6	66.2	67.4	65.0	65.8	71.6	75.7	56.5	67.8	67.6	68.5	66.2
84.2	82.4	87.0	89.8	83.8	86.0	88.2	88.5	83.3	87.8	91.2	75.4	85.7	86.5	82.5	85.5
79.4	78.2	85.8	80.7	76.2	78.8	77.4	86.6	76.3	81.9	83.3	76.8	79.8	79.6	80.5	80.1
41.1	39.9	41.5	48.2	39.6	43.2	44.7	48.4	40.0	41.7	43.7	34.1	49.3	50.2	45.8	45.9
60.1	58.5	61.8	65.7	60.4	63.0	66.5	69.3	57.9	70.7	73.7	59.4	67.1	68.7	61.1	64.6
39.9	39.7	48.8	43.4	25.8	47.1	57.1	48.7	39.4	65.0	75.7	25.4	39.0	38.7	39.8	45.2
35.1	36.6	41.2	35.4	18.8	39.3	49.0	44.7	30.2	55.2	63.7	23.9	34.0	34.7	31.1	38.9
39.5	39.9	40.0	32.1	44.6	31.8	36.5	32.4	28.2	19.3	21.2	12.3	21.6	20.9	24.2	33.2
68.0	70.0	60.6	69.7	64.6	72.2	75.3	75.9	68.3	80.1	81.0	76.8	76.5	77.2	73.8	72.2
24.3	22.4	35.8	23.7	20.0	28.6	38.2	25.4	23.1	47.8	55.3	20.3	32.9	33.8	29.5	29.5
84.1	83.8	81.8	86.9	85.4	84.1	87.6	82.9	82.2	85.8	87.3	80.4	87.2	87.2	86.9	85.3
80.5	80.8	82.4	79.6	77.3	80.8	82.7	82.1	78.9	83.6	86.5	73.2	82.6	82.7	82.2	81.4
43.1	42.8	44.2	42.0	44.2	50.2	55.2	48.7	47.4	47.7	51.8	32.6	47.0	47.5	45.3	47.1
27.4	27.8	29.1	27.7	22.7	30.7	33.1	30.2	29.1	31.2	33.5	22.5	32.3	33.9	26.0	30.9
55.4	56.3	55.5	56.9	49.2	57.5	59.7	61.0	54.5	56.8	59.8	45.7	59.5	60.8	54.0	58.4
72.1	72.1	73.6	74.8	67.3	71.2	75.5	70.1	68.6	74.8	77.8	63.8	72.4	72.3	72.5	72.5
28.1	30.0	22.1	30.7	23.1	39.2	42.4	42.0	35.7	34.6	36.9	26.1	37.7	39.2	31.8	34.7
37.3	38.3	34.2	43.4	29.6	57.6	65.0	62.0	50.4	59.6	64.5	41.3	58.5	60.6	50.2	51.0
53.4	53.4	56.7	58.8	43.5	48.3	53.7	54.8	41.7	58.2	63.1	39.9	46.6	47.1	44.4	51.5
60.4	59.8	69.7	72.3	39.2	57.4	65.8	57.2	51.5	68.8	78.0	34.8	48.3	47.9	49.8	59.4
33.6	32.9	37.0	39.8	26.2	31.2	33.7	33.7	28.5	37.0	40.4	24.6	34.7	34.9	34.0	34.7
60.0	59.9	59.4	66.1	55.0	58.6	62.4	63.6	53.7	68.2	72.7	51.4	67.7	69.0	62.4	63.4
12.8	12.8	12.7	16.1	9.6	20.0	22.4	24.1	16.5	15.7	17.3	10.1	19.2	20.0	15.8	17.0
54.8	54.5	48.2	69.3	49.2	55.5	61.9	62.0	48.2	63.9	66.1	55.8	62.4	64.0	56.2	59.1
60.9	62.6	61.8	59.1	52.3	50.7	58.1	52.1	44.8	58.0	61.4	45.7	60.2	61.3	56.0	60.5
27.5	29.8	24.5	29.9	16.9	38.7	45.2	46.3	31.0	48.5	54.7	25.4	43.6	45.9	34.2	36.1
18.7	21.0	13.6	17.9	13.8	16.9	17.1	13.9	18.1	14.8	17.3	5.8	19.6	19.6	19.8	18.8
51.3	51.4	51.7	54.7	46.4	53.4	57.7	55.7	49.4	57.9	61.5	44.7	54.2	54.9	51.7	54.0

### ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
聞くこと	9	1(1)、2(2)、 2(3)	1(3)	65.9	66.7
読むこと	10	5(1)、5(2)、 6(1)、8(1)②	5(4)、6(2) 8(1)①、8(2)	52.5	67.0
書くこと	12	4(4) 9(1)、9(2)	4(2)、4(3)、 4(5)、9(3)、10	46.3	51.7

### エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
外国語表現 の能力	7	9(1) 9(2)	9(3) 10	48.1	50.0
外国語理解 の能力	19	1(1)、2(2)、 2(3)、5(1)、 5(2)、6(1)、 8(1)②	1(3) 5(4) 6(2)、 8(1)①、8(2)	58.9	66.8
言語や文化 についての 知識・理解	5	4(4)	4(2)、4(3) 4(5)	43.8	54.0

### オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1	(3) 35.8	60.0	ア(34.0)、エ(16.0)、イ(13.0)
4	(2) 38.9	50.0	study(28.0)、is(8.0)、studied(4.0)、studying(4.0) studys(3.5)
	(3) 33.2	60.0	Are(21.5)、Did(19.5)、Do(9.0)、was(4.0)
	(5) 29.5	50.0	were(20.0)、was(17.0)、do(7.0)、are(7.0)、am(4.0)
5	(4) 30.9	70.0	エ(26.0)、ア(24.0)、イ(17.0)
6	(2) 34.7	70.0	③ア(19.0)、ウ(19.0) ④イ(18.0)、ウ(16.0)
8	(2) 17.0	50.0	2番目に入る文の間違い(41.0)
9	(3) 36.1	40.0	文構造の理解不足・単語の羅列(23.0)、無答(13.0) Whoes(9.0)、Who bag is ~ / Who is bag ~?(8.0) What bag is ~ / What is bag ~?(5.0) Whose is bag ~?(4.0)、Who's bag is ~?(3.0)
10	18.8	40.0	15語以上で書いているが、間違いがあるもの(49.0)、 無答(17.0)、14語以内で書いているもの(15.0)

- 誤答の原因として、**1**(3)では、アの誤答が多かったことから、質問文のWhoseの聞き取りと意味の解釈はできているものの、それに続く名詞が複数であることを理解していないことが考えられる。
- 誤答の原因として、**4**(2)では、studyの誤答が多いことから、3人称単数のs (es) の定着が十分ではないことが考えられる。(3)では、Are、Did、(5)ではwas、wereの誤答が多く、日本文から過去の事実であることを読み取る力や、一般動詞とbe動詞を使い分ける力が不十分であることが考えられる。
- 誤答の原因として、**6**(2)では、**3**、**4**での誤答が多いことから、文章(対話文)の前後の関係を正確に読み取ることができていないことが考えられる。
- 誤答の原因として、**8**(2)では、2番目に入る文がキの誤答が多かったことから、before(～の前に)、so(だから、それで)、then(それから)などの接続詞や副詞に着目して文と文の順序や相互の関連を捉えたり、them、thereなどの代名詞や副詞からそれらが示す内容を正確に捉えたりするのが不十分であることが考えられる。
- 誤答の原因として、**10**では、主語がなかったり、主語の次に動詞(be動詞)がなかったり、異なった動詞を用いたりしていることから、文構造や語順に関する知識・理解の定着が不十分であることが考えられる。

#### カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「読むこと」において、まとまりのある英文を読んで概要や要点を把握することや、対話文を読んで要点を把握する力の向上が挙げられる。また、昨年度同様「書くこと」における内容的にまとまりのある一貫した文章を書くことの向上も挙げられる。

今後の指導においては、英文を一文ごとに和訳させるのではなく、全体の内容を大まかに捉えるように読解する活動や、英問に答えられるように読解する活動を取り入れるなど、英文を読む必然性を与えることが大切である。話の内容や書き手の意見を読み取りながら、内容や考え方などを自分の体験に照らして理解する。そしてそれを評価し、批判的に捉えて、読後に自分の感想等を書くなどの指導の工夫が有効である。

#### 指導例

書かれた内容や考え方などを批判的に捉える力を高める指導  
～単元名「まとまりのある英文を読み、意見や感想を書いてみよう」～

#### 【指導の流れ】

1 全体の内容を大まかに把握させる。

**学習活動①** 各段落の最初の文(「引用英文」波線参照)を抜き出し、アトランダムに提示されたものを順番通りに並べ替えるようグループで考える。

#### ポイント

逐語和訳するのではなく、あらすじを大まかに読み取らせる。

引用英文：「NEW HORIZON English Course 3」『Family Rules』(東京書籍 平成18年度版)より

I have a five-year-old host brother. His name is Ben. One day, Ben and his friends were playing outside. Ben was shouting, pushing and behaving very badly. Suddenly, my host father said to him, "Ben, I think you need a time-out."

He carried Ben into the house, put him on a chair, and told him to sit quietly for 15 minutes. After that, Ben behaved well. His father said to him, "OK, Ben. You can go outside again to play."

I asked my host father about time-outs. He said that time-outs are used when small children behave badly or get too excited. The children are taken away from the activity and put somewhere in the house alone.

In Japan many parents used to lock their children outside the house for discipline.

When I told that to my host father, he laughed and said, "That sounds like a real time-out!" In America, time-outs are usually inside. (中略)

I think my host parents are very good parents. (中略) The family rules they make are clear and fair. (中略) It takes work and patience to have a happy family.

## 2 段落ごとの内容を把握させる。

**学習活動①** CDを活用し、英文に出てくる重要表現や語句について発音やアクセントなどを確認する。また、辞書や青森県版英単語集を活用し、教科書以外の例文も確認する。

**学習活動②** 内容把握のための英問に答える。ある程度自分で考えたらペアやグループで確認する。

### ポイント

英文を読む前に英問を生徒に示すことでどのような内容を読み取ったらよいのかを生徒に把握させ、そのことを意識しながら読解できるようにさせる。

また、生徒が、話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりできるように、内容把握のための英問に、賛否やその理由が答えとなるような問いを加える。

Teacher: How old is Ben?

Student: He is five years old.

Teacher: Why was he carried into the house?

Student: Because he was behaving very badly when he was playing outside.

Teacher: Do you agree with the idea, "It takes work and patience to have a happy family"? Why do you think so?

Student: I agree with the idea because I think a happy family means loving each other deeply. Parents try to be strict with children because they love them. But sometimes children don't understand. So it takes work and patience to have a happy family.

**学習活動③** ペアやグループにより様々なバリエーションによる音読活動を行う。

### ポイント

意味内容を正しく理解し、その内容にふさわしく音声化することの意義を説明するとともに、ペアやグループなどの学習形態を活用しながら様々なバリエーションによる音読活動を取り入れ、積極的に音読させる

Teacher: 音読の仕方の工夫例として…

- ・コーラスリーディング
- ・シャドーイング
- ・リード&ルックアップ
- ・ペアワーク読み(ペアで交互に音読する)
- ・グループワーク読み(4人グループで順番に流れよく音読する)

Teacher: などがあるよ。

Student: 内容が理解できていれば、それを表現するような音読ができるんだね。

3 英文のテーマとなっている内容について、事例や根拠を示しながら自分の考えをまとめさせ、手紙に書かせる。

**ポイント**

批判的な読解を促進させるために、自分の身近な所での同様の出来事などを思い起こさせ、本文の内容と比較しながらそれぞれのよさや課題となる点について、根拠や理由を示し手紙を書かせる。

また、一方的な発信とならないように、だれに手紙を書くのかといった相手意識をもたせた指導をすることで、伝えたいという意欲や、表現の工夫、内容の深まりにもつながっていく。

※直線は本文内容でよいと思う点、波線はその根拠となる点を示している。

【手紙例】

December 1

Dear Mai,

Hello. My name is Yuki Ito.

Thank you for sending me a letter.

I also think your host parents are strict but very good parents. I think they love Ben and Kelly with all their heart and Ben and Kelly love their parents. They sound like a happy family.

When I was an elementary school student, my parents always told me to be home by time. But one day, I stayed out playing until 7:30. When my father came home, he locked me outside. I wanted to play with my friends because it was a lot of fun. But my father didn't listen to my reason. So I cried outside. I thought my parents were too strict.

Now I understand why my parents are so strict. They love me and want me to be safe and well-behaved. And I love them, too. I think we are a happy family. It takes work and patience to have a happy family.

Best wishes,  
Yuki

参考資料：言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】平成24年 文部科学省  
「NEW HORIZON English Course 3」(東京書籍 平成18年度版)

「活用」に関する問題についての課題としては、聞いたり読んだりしたことを整理して考え、自分の考えや気持ちなどを書く力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、語彙や文構造の基礎的・基本的な知識・理解の定着にとどまらず、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するため、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を設定し、年間指導計画及び単元指導計画との関連を図りながら、3年間を見通し、学習段階に応じて計画的・系統的に指導を行う必要がある。さらに、適切に評価を行い、目標の達成状況を把握した上で指導の工夫・改善を図る必要がある。

特に、毎年課題に挙げられる書く力の向上に向けて、複数単元のまとめの段階で、発展的な活動として書く活動を設定することはもちろん、今後は一単元を貫く活動として技能統合型の活動を設定し、単元目標の達成に向けてスモールステップで繰り返し指導することが求められる。

## 指導例

単元を通して技能統合型の活動を設定しスモールステップで書く力を高める指導  
～単元名「将来の夢を伝えよう」～

### 【指導の流れ】

#### 1 単元目標を具体的に示し、単元の見通しをもたせる。[1時間目]

単元目標と具体的なゴールの姿を示し、学習内容や活動の見通しをもたせる。



この単元では「将来の夢について」のスピーチを行うことがゴールです。就きたい職業やその理由について、聞き手に思いが伝わるスピーチ原稿を書きましょう。

単元目標は、「『将来の夢』について、文のつながりや文の構成などを意識して、自分の意見を筋道を立てて、20語以上で話すことができる。」です。6時間目のスピーチ発表で、パフォーマンス評価を行います。



**学習活動①** A L T等による2種類のスピーチ（接続詞、副詞、代名詞を使ったまとまりのあるスピーチとそうでないスピーチ）を聞いて、気付いたことを発表し合う。

becauseやso, whenなどを使ったスピーチの方が理由や文と文のつながりが分かりやすく、内容がより伝わってきました。



思いや内容を聞き手にはっきりと伝えるために、強弱やスピードを工夫しているのがわかりました。



就きたい職業を言うときにwant to beを使っていました。また、理由を言うときに、FirstやSecondを使っていました。



### ポイント

単元のゴールを示すことにより、単元末の表現活動に必要な語彙や基本文に気付かせるとともに、単元の学習や言語活動への目的と必然性をもたせる。

**学習活動②** スピーチ内容をメモやマッピング等で整理する。

【メモの例】 将来の夢 writer

I like to read books (novels). I like Dazai Osamu. I often go to the library.  
I have many books.

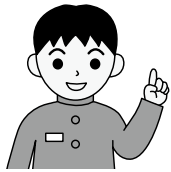
#### 2 言語活動を通してスピーチに必要な語彙や文法事項を習得させる。[2～4時間目]

### ポイント

教科書本文の読み取りや対話活動に取り組みせ、スピーチ原稿の素材を蓄積させる。

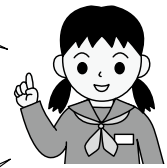
**学習活動①** 教科書本文の対話例を参考に、将来の夢について対話する。





What do you want to be in the future?

I want to be a writer.



Oh, you want to be a writer? That sounds nice! Why?

Because I like to read novels. My favorite writer is Dazai Osamu. I want to write a good novel like him.

### 3 ペアワークを通して、スピーチ原稿の作成、練習に取り組ませる。[5時間目]

**学習活動①** 教科書本文とメモ等を参考に、スピーチ原稿の素案を作成する。

#### ポイント

1～4時間目に作成したメモや対話文などのスピーチ原稿の素材を基に作成させる。

**学習活動②** ペアで原稿を読み合い、気付いた点を指摘し合う。



次の点を指摘し合おう。

- ①もっと詳しく知りたいと思った点
- ②あまり理解できなかった文
- ③自分の原稿にも取り入れたいと思った文や表現

#### ①の例

What kind of novels do you read?



#### ②の例

「I go to the library when I am free. I read books there.」は、「I go to the library to read books when I am free.」の方が伝わるよ。



#### ③の例

「I hope many people will read my novels.」のI hope～willは自分も取り入れたいと思った。



**学習活動③** ペアワークを踏まえ、スピーチ原稿を作成する。

#### 【スピーチ原稿例】

Hello, everyone. I want to tell you about my dream. I want to be a writer in the future. I have two main reasons.

First, I like to read books, especially novels. I often go to the library to read books when I am free.

Second, my favorite writer is Dazai Osamu. He wrote many famous novels. I want to write interesting novels to make many people happy. I hope many people will read my novels. Thank you.

**学習活動④** スピーチの練習に取り組む。

単元の最初の時間に見たモデルスピーチの文をもう一度見て、聞き手に伝えるためのポイント (delivery) を整理しよう。





ビデオやタブレットで自分のスピーチをモニタリングしてみよう。

#### 4 スピーチ発表に取り組ませる。[6時間目]

**学習活動①** 学級全員に向けて発表する。

**学習活動②** 仲間の発表を「聞き手に伝えるためのポイント」の観点で評価する。

#### **ポイント**

単元目標の達成状況を把握するため、パフォーマンス評価を行うとともに、評価結果を生徒にフィードバックする。

#### キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「聞くこと」の領域においては、おおむね良好である。しかし、「読むこと」の領域における「対話文を読んで要点を把握すること」及び「書くこと」の領域における「内容的にまとまりのある一貫した英文を書くこと」については、十分とは言えない。このことは、「活用」に関する問題としても課題である。

今後、「読むこと」や「書くこと」の領域を含め、4技能を総合的にバランスよく育成するためには、単元を通してどのような力を付けたいのかを考え、「CAN-DOリスト」の形で学習目標を明確に設定することが必要である。さらに、評価場面をきちんと設定し、指導の手立てを考えた上で、授業を行うようにしたい。

その中で、言語活動と文法指導を一体的に行うようにするためには、場面設定に必然性をもたせ、生徒がその場で考えてコミュニケーションを行うような工夫が必要である。単に対話文等を暗記し、それをそのまま発表する活動は、基本文定着の一つの方法ではあるが、コミュニケーションとなっていない場合が多い。中学校において「英語の授業を英語で行うことを基本とする」ことが求められる。その基本は「生徒が英語でコミュニケーションを行う」授業をすることであることから、生徒が実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの思考・判断する場面を設けるようにしたい。例えば、記録、要約、説明、論述、討論などの言語活動を、目標を達成するための手段として実践することである。単元の終末には、面接、エッセー、スピーチ等でのパフォーマンス評価を実施し、生徒の学習効果を高めつつ、授業改善を図っていくことが大切である。